

えんだより

2019年
8月号



NO. 161
シャローム三育保育園

今年も夏祭りにたくさんのご参加ありがとうございました。心配された天気も支えられて予定通り夏祭りを開催することができました。本当に子どもたちの頑張りとお保護者の皆様並びにご参加いただいた方々のご協力のおかげと心から感謝申し上げます。

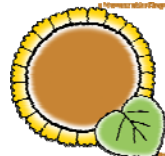
本格的な夏になり、ご家族で出かけることもあるかと思いますが、水の事故や大きなケガのないように十分に気を付けて、楽しい思い出が残る夏にしてください。

園長 村上 渉

掲示板練習メッセージ8月1日頃配信いたします

《お知らせ》

- ・6月1日付で〇〇 〇〇保育士が入職いたしました。
- ・7月1日付で〇〇 〇〇保育士が入職いたしました。



今月の予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5 礼拝 流しそうめん (5歳児)	6	7 二ツ橋保育園交流会 (5歳児)	8 英語教室(3.4.5歳児)	9	10
11 山の日	12 振替休日	13	14 避難訓練	15	16	17
18	19 礼拝	20	21	22 英語教室 (4.5歳児) クッキング (3.4.5歳児)	23 	24
25	26 礼拝 老人ホーム訪問 (5歳児)	27 体操教室	28 誕生会	29 英語教室 (3.4.5歳児)	30 保育園職員会議	31



「エコ」

先日、買い物に行ったスーパーのレジ袋が有料になっていました。マイクロプラスチック等による海洋汚染問題です。大気汚染と地球温暖化の問題に加えて海洋汚染も人類の大きな課題になりました。

節約の代名詞といえば電気ですね。昔も今も「節電!」「節水!」がNo1ですが、電気も水も元をたどれば自然の物です。人間が経済発展を優先した時代には自然という大きなものを犠牲にしてきました。一度失われた自然はなかなか元には戻りません。当たり前が当たり前にならなくなる日が来るかもしれません。あの東日本大震災時の停電を覚えていますか?計画停電もあり電気の有難さを、身を持って感じた出来事でした。その後、LEDの普及、車や電気製品等の省エネ化が急速に進みましたが、それでも夏の首都圏では電気供給量不足で節電が必要な状態です。

環境問題というと、とても大きい事のように思いますが、ひとり一人のひとつひとつの行動の積み重ねが良くも悪くも未来を作っていくということです。

横浜市環境創造局が震災翌年の2012年から“こども「エコ活。」大作戦”なるものが夏休みに市内の小学生で行われているそうです。「エコ」とは「エコロジー(生態学・環境学)」や「エコノミー(経済)」の略になりますが、生態や環境にやさしく経済的な過ごし方とは何でしょう。「エコ活」のチェックリストを紹介します。是非この夏、お子さんと一緒に実践してみてください。

- ①旬のもの(季節の食べ物)や、横浜産の野菜や果物など(農畜産物)を食べよう
- ②木や花、野菜や果物などの植物を育てたり、世話をしよう

- ③ごみをきちんと分別しよう
- ④すいとう(マイボトル)を使おう
- ⑤水道のじゃ口の開け閉めをこまめにしよう
- ⑥明かりやテレビのつけっぱなしはやめよう
- ⑦公園や森、水辺に行ったときには、生き物や植物を見つけてみよう

大事なことは“意識と継続”でしょうか。まず私たちができることは、自然を大切にすること。電気や水を大切にすること。ゴミはゴミ箱に。未来の子どもたちの為にも見本を見せなければいけませんね。

園長

